

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-C11

申請日	2015/12/25	承認日	2015/12/28	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日		承認者	印

IRIS+Bevacizumab	病名	大腸癌	外科	提出医
対象	切除不能・進行再発大腸癌			

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)															
			1	5	10	15	20	25	28	30								
アバスチン(ベバシズマブ)	5mg/kg	div	○			○												
イリノテカン塩酸塩	125mg/m ²	div	○			○												
S-1	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S-1	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
投与間隔・休薬期間等: 28日=1コース																		

【投与処方例(前投薬など)】

- *アバスチン投与中は、タンパク尿・血圧測定を実施。
- *治療開始前に、UGT1A1の遺伝子多型を調べておくこと。
- *多量の腹水・胸水のある患者、イレウス患者等には禁忌(詳しくは添付文書を参照)

- ① メインルート【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】生理食塩液100mL+アバスチン/div (初回90分、2回目60分、3回目以降30分で可)
- ③ メイン【白-1】生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキササート4mg /div 30分

④ メイン【白-2】生理食塩液500mL+イリノテカン /div 1.5時間

制吐剤セット処方④

Day2.3.16.17 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、S-1の投与量を変更すること

Ccr60~80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40~59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30~39mL/min 原則として2段階減量

Ccr30以下は禁忌

※S-1の内服量

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
~<1.25m ²	40mg/回	30mg/回	25mg/回
1.25m ² ≤~<1.5m ²	50mg/回	40mg/回	30mg/回
1.5m ² ≤~	60mg/回	50mg/回	40mg/回